

Oracle Discoverer 3i User Edition

リリース・ノート

for Windows リリース 3.3.57

2000 年 7 月

部品番号 : J02146-01

目次

はじめに	3
動作条件の追加情報	4
対応 Web ブラウザについて	4
対応 HTTP サーバーについて	4
必要ディスク容量について	4
コンポーネントのバージョン	5
ドキュメント	7
オンライン・ドキュメント	7
Discoverer Viewer をインストールする前に	8
限定使用プログラムについて	8
EUL の更新について	8
Discoverer Viewer 3.1.34 および 3.1.36 からのバージョン・アップについて	8
このリリースでサポートされていない機能	11
注意点	11
CLASSPATH 環境変数について	11
Internet Explorer を使用して 3i User Edition のベータ版を使用したことがある場合 ..	11
既知の問題点	12

ORACLE[®]

Oracle と Oracle のロゴは Oracle Corporation の登録商標です。記載されているその他の製品名および社名はその製品および会社を識別する目的にのみ使用されており、それぞれ該当する所有者の商標です。

クロス集計の印刷時にページアイテムの文字が一部化ける	12
訂正	12
『インストレーションおよび管理ガイド』	12
オンライン・ドキュメント.....	12
クラスファイルの置換えについて	12
追記事項	13

はじめに

本リリース・ノートでは、Oracle Discoverer 3i User Edition を利用するために必要な情報を提供します。

オンラインで提供されるリリース・ノート(readmja.wri)は、英語版リリース・ノートを翻訳して、日本語版に合うように修正されたものです。あわせてご覧ください。ただし、重複する内容につきましてはこのリリース・ノートの記述が優先されますのでご注意ください。

本リリース・ノートには、動作条件の追加情報、限定使用プログラム使用上の注意、付属ドキュメントの説明など、Discoverer 3i User Edition を使用する上で必要となる情報が記載されています。インストールを始める前に必ずお読みください。

動作条件の追加情報

対応 Web ブラウザについて

- 『インストールおよび管理ガイド』の「2.1.2 ソフトウェア要件」に記載されている環境に訂正があります。下記の環境でのみ動作可能です。

Windows95、WindowsNT 4.0

Microsoft Internet Explorer 4.01 (Version 4.72.3110.8 以上) , 5.0

Netscape Navigator / Communicator 4.05, 4.06, 4.5x

Netscape Navigator / Communicator で実行する場合には Oracle JInitiator が必要

Windows98

Microsoft Internet Explorer 4.01 (Version 4.72.3110.8 以上) , 5.0

対応 HTTP サーバーについて

- 対応 HTTP サーバーは以下の通りです。

Netscape Enterprise Server 3.0

Microsoft Internet Information Server 4.0

Oracle Web Application Server 3.0

Oracle Application Server 4.0

Apache Web Server 1.2

必要ディスク容量について

- 新規に Discoverer Server をインストールするマシンには、約 180MB の空きディスク領域が必要となります。既に他の Oracle 製品がインストールされている場合には、それよりも少ない空きディスク領域でインストール可能です。
- Discoverer 3i User Edition で利用する HTTP サーバー上には、約 30MB の空きディスク領域が必要となります。

(注意 : ファイルシ・システムにより大きく異なります。上記の値は参考値です。)

コンポーネントのバージョン

Oracle Installer	3.3.1.2.4
Required Support Files	8.0.6.0.0
Required Support Files	7.3.4.1.1
Oracle Trace Collection Services	7.3.4.0.0
Oracle Trace Collection Services	8.0.6.0.0
SQL*Plus	8.0.6.0.0
Java(TM) Runtime Environment	1.1.7.15.1
Assistant Common Files	8.0.6.0.0
Oracle Net8 Products	8.0.6.0.0
Oracle Net8 Client	8.0.6.0.0
Oracle Net8 Assistant	8.0.6.0.0
Oracle Protocol Adapters	8.0.6.0.0
Oracle TCP/IP Protocol Adapter	8.0.6.0.0
Oracle SPX Protocol Adapter	8.0.6.0.0
Oracle Named Pipes Protocol Adapter	8.0.6.0.0
Oracle Networking Products	2.3.4.0.2
Oracle Protocol Adapters	2.3.4.0.0
SQL*Net Add-on	2.3.4.0.2
SQL*Net Client	2.3.4.0.2
Oracle TCP/IP Protocol Adapter	2.3.4.0.0
Oracle SPX Protocol Adapter	2.3.4.0.0
Oracle Named Pipes Protocol Adapter	2.3.4.0.0
Oracle LU6.2 Protocol Adapter	2.3.4.0.0
Oracle Trace Collection Services	7.3.4.0.0
Oracle LU6.2 Protocol Adapter	8.0.4.0.0
GUI Common Files	6.0.0.9.0
Java Runtime Environment	1.1.7.28o
JInitiator	1.1.7.27

Oracle Discoverer User Edition for Web	3.3.57
Oracle Discoverer Server	3.3.06.64
Discoverer Locator	3.3.06.64
Discoverer Collector	3.3.06.64
Discoverer Preferences	3.3.06.64
Discoverer Session	3.3.06.64
Discoverer Libraries	3.3.25
Installation and Administration Guide	3.3.06.64
Discoverer System Support Files	3.3.06.64
VisiBroker Products	3.3.1.0d
VisiBroker Smart Agent	3.3.1.0
VisiBroker for C++	3.3.3.0
VisiBroker for Java	3.4.0.0
INTERSOLV DataDirect Drivers	2.12.0.1
Driver for Btrieve	2.12.0.1
Driver for DB2/2	2.12.0.1
Driver for dBASE	2.12.0.1
Driver for Excel	2.12.0.1
Driver for Excel 5	2.12.0.1
Driver for Informix 5	2.12.0.1
Driver for Informix 7	2.12.0.1
Driver for Ingres	2.12.0.1
Driver for Oracle7	2.12.0.1
Driver for Paradox	2.12.0.1
Driver for SQL Base	2.12.0.1
Driver for SQL Server	2.12.0.1
Driver for SQL Server 6	2.12.0.1
Driver for Sybase	2.12.0.1
Driver for ASCII Text Files	2.12.0.1
System Support Files	2.1.0.0.0

ドキュメント

Discoverer 3i User Edition には、下記のドキュメントが付属しています。

『インストール・および管理ガイド』

『ユーザーズ・ガイド』

それぞれのドキュメントには、以下のような内容が記述されています。

『インストール・および管理ガイド』

- Discoverer 3i User Edition のインストール手順、注意事項など
- Discoverer 3i User Edition を運用する上で必要な情報など

『ユーザーズ・ガイド』

- Discoverer 3i User Edition 利用者のための手引き

オンライン・ドキュメント

Discoverer 3i User Edition には、下記のオンライン・ドキュメントが付属しています。

readmja.wri

「スタート」 「Oracle Discoverer 3i」 「Release Notes Japanese」で表示されます。

また、オンライン・ヘルプも翻訳されていますが、「スタート」メニューからはご利用になれません。Discoverer 3i User Edition のスタート・ページからのリンクを利用して開いてください。

Discoverer Viewer をインストールする前に

限定使用プログラムについて

CD-ROM に同梱されている Net*8、SQL*Plus は、当製品のインストール後にデータベースへの接続を確認するためのものです。それ以外の目的（Discoverer での使用も含む）で使用される場合には、ライセンスが必要となります。ライセンスをお持ちでない場合は、必ず購入してください。

EUL の更新について

Discoverer 3i User Edition から Discoverer 3.1.36 より古いバージョンの EUL に接続することはできません。EUL の更新が必要です。3.1.36 およびそれ以降のバージョンの EUL に対して接続可能です。最新のバージョンを使用して EUL を更新しておくことを推奨します。

EUL を更新するには、Discoverer を 3.1.36 以降のバージョンに更新したあと、Administration Edition を使用して End User Layer（以下 EUL）へ接続します。

Discoverer Viewer 3.1.34 および 3.1.36 からのバージョン・アップについて

Discoverer Viewer 3.1.34 および 3.1.36 からバージョンアップする場合、必ず Discoverer Viewer を削除してから、Discoverer 3i User Edition をインストールしてください。同一マシン上に共存させることはできません。

Discoverer Viewer の Session、Preferences および Collector オブジェクトを Unregister し、Discoverer のプロセスを停止します。さらに Web サーバーのサービスを停止後、製品を削除します。次の手順に従ってください。

1. 「スタート」メニューから、「プログラム」 「Oracle Discoverer Server 3.1 Setup」 「Unregister Session」、「Unregister Preference」、「Unregister Collector」を選択します。
2. タスクバー上の「Start Locator」アイコンをクリックし、ウィンドウを開きます。
3. ウィンドウ内で[Ctrl]+[C]を押すか、またはクローズ・ボックスをクリックしてウィンドウを閉じます。
4. [Ctrl]+[Alt]+[Del]を押し、タスク・マネージャを開きます。

5. dis31pr.exe を選択して「プロセスの終了」をクリックし、Preferences をシャットダウンします。さらに、dis31col.exe をクリックして「プロセスの終了」をクリックし、Collector をシャットダウンします。Preferences および Collector が、それぞれ別のマシンで実行されている場合でも同じ手順でシャットダウンできます。
6. タスクバーの「Object Activation Daemon」アイコンをクリックし、ウィンドウを表示します。
7. [Alt]+[F4]を押すか、ウィンドウのクローズ・ボックスをクリックして閉じます。
8. タスクバーの「VisiBroker Smart Agent」アイコンをクリックし、ウィンドウを表示します。
9. [Alt]+[F4]を押すか、ウィンドウのクローズ・ボックスをクリックして閉じます。
10. [Ctrl]+[Alt]+[Del]を押し、タスク・マネージャを開きます。
11. dis31ws.exe を選択して「プロセスの終了」をクリックし、シャットダウンします。
12. マシンを再起動します。
13. 「スタート」メニューから、「設定」「コントロール パネル」を選択します。「サービス」アイコンをダブルクリックします。
14. 「サービス」ダイアログが表示されます。
 - a. 「Apache」等、Web サーバーのサービスを選択します。
 - b. 「停止」ボタンをクリックします。
15. 「スタート」メニューから、「プログラム」「Oracle for Windows NT」「Oracle Installer」を選択します。「Software Asset Manager」が表示されます。
16. 「Software Asset Manager」ダイアログで、既にインストールされている「Oracle Discoverer (Web)」を削除します。削除後、「VisiBroker Products」が残っている場合は、それも削除します。
17. 環境変数(VBROKER_JVM, VBROKER_TAG)の設定を削除します。
18. マシンを再起動します。

これで Discoverer Viewer が完全に削除されました。

製品版の Discoverer 3i User Edition のインストール後、再度「Session」および「Preferences」オブジェクトを登録（register）してください。「スタート」メニューから、「プログラム」→「Oracle Discoverer Server 3i Setup」→「Register Session」、「Register Preference」を選択します。

Discoverer が分散インストールされている場合、マスター・サーバーから Discoverer を削除するには上記の手順に従ってください。他のサーバーから削除する場合、手順 1 で「Unregister Session」だけを実行し、また手順 13 と手順 14 は Web サーバーがインストールされている場合のみ行います。

このリリースでサポートされていない機能

Oracle Applications への接続機能は、サポートされていません。次期リリース以降での対応を予定しています。

注意点

CLASSPATH 環境変数について

環境変数 CLASSPATH の設定内容によって製品が動作しなくなる場合があります。

CLASSPATH 環境変数が設定されている環境で製品がうまく動作しない場合、CLASSPATH 環境変数の設定を削除して再試行してみてください。

Internet Explorer を使用して 3i User Edition のベータ版を使用したことがある場合

バージョンの不整合を起こす場合があるため、キャッシュされているプログラムを削除する必要があります。下記の方法でキャッシュされているプログラムを削除してください。

1. IE 5.x の場合、「ツール」 「インターネット オプション」を選択します。IE 4.x の場合、「表示」 「インターネット オプション」を選択します。
2. 「インターネット一時ファイル」の「設定」ボタンをクリックします。
3. 「オブジェクトの表示」をクリックします。「Downloaded Program Files」ダイアログが開きます。
4. 「Oracle Discoverer3i」および「Oracle Discoverer 3i Initializer」を右クリックして削除します。
5. マシンを再起動します。
6. Discoverer 3i のページにアクセスして、製品版を使用できます。

既知の問題点

クロス集計の印刷時にページアイテムの文字が一部化ける

クロス集計の印刷時にデータポイントをページアイテムに設定していると、本来「データポイント」と印刷されるべき箇所の文字が化けて印刷されます。画面上では問題なく表示されます。この問題は次期バージョンで修正される予定です。

訂正

『インストレーションおよび管理ガイド』

対応 Web ブラウザに訂正があります。詳しくは「1.1 対応 Web ブラウザについて」をご覧ください。

オンライン・ドキュメント

Readmja.wri の中に、Oracle Applications への接続についての記述がありますが、現在のバージョンではこの機能はサポートされていません。将来のバージョンで対応予定です。

クラスファイルの置換えについて

UI の一部に不具合がありますので、HTTP サーバー上のファイルを CD-ROM の ¥EXTRAS¥Class¥DiscoBundle_ja.class に置き換えてください。なお、そのままでも製品の動作には全く影響ありません。

HTTP サーバー上の /discwb33/applet/oracle/disco/resource です。

追記事項

- ドリルアウトの設定について

Administration Edition 上で、「内容タイプ」を「FILE」と設定してある列の値として外部のファイル名などを格納しておく、Discoverer 3i User Edition 上でそれらがリンクとして表示されます。ローカルファイルへのリンクはできませんので、User Edition でローカルファイルへのリンクを設定している場合にはご注意ください。

1. 列の値が「memo.doc」の場合
Discwb33/applet/memo.doc へのリンクが表示されます。
2. 列の値が「/memo.doc」の場合
http://your_http_server/memo.doc (http ルートディレクトリ上の memo.doc) へのリンクが表示されます。
3. 列の値が「foo/memo.doc」の場合
Discwb33/applet/foo/memo.doc へのリンクが表示されます。
4. 列の値が「c:¥temp¥memo.doc」の場合
リンクは表示されますが、クリックするとエラーになります。ドリルアウトできません。
5. 列の値が「¥¥machine_name¥memo.doc」の場合
リンクは表示されますが、クリックするとエラーになります。ドリルアウトできません。
6. 列の値が「http://www.oracle.co.jp/」の場合、
http://www.oracle.co.jp/ へのリンクが表示されます。

以上

